

平成 30 年度 施設見学会、情報・意見交換会

場所：社会医療法人凌雲会

小規模多機能ホーム藍住の家

日時：平成 30 年 12 月 8 日 14:00～

徳島県介護支援専門員協会 施設委員会では、県内の医療機関や高齢者施設、社会福祉事業所等で見学会や情報・意見交換会を開催しています。今回は多機関で活躍しているケアマネジャー他、専門職から 25 名ほどの参加者が集い、藍住町にある「社会医療法人凌雲会 小規模多機能ホーム藍住の家」において施設見学会と情報・意見交換会を開催しました。小規模多機能ホーム藍住の家は平成 30 年 4 月に県内初のサテライト型小規模多機能居宅介護サービスとして開所されました。本体事業所は 29 名の登録定員のうち日中は 18 名まで通いサービスを受けられ、宿泊用居室は 9 戸を備えております。サテライト事業所は登録定員 18 名のうち、日中は 12 名まで通いサービスを受けられ、宿泊用居室は 4 戸を備えております。当日は本体、サテライト事業所双方でサービス提供の実際を見学させて頂いた後に事業所概要の他、運営コンセプト等について担当者から説明くださいました。また、同法人では就労支援事業所において四国で初めて「久遠チョコレート徳島店」を開店されており店内の雰囲気を感じ取りながら、試食の機会を設けてくださり多数の参加者が商品を購入されていました。

見学会の後には居宅支援事業所や包括支援センター、小規模多機能ホームのケアマネジャーが情報・意見交換を行いました。居宅支援事業所や包括支援センターのケアマネジャーからは小規模多機能ホームで出来ることやサービスの特徴を尋ねられており、あらためて制度の理解ができたとの声が聞かれていました。小規模多機能ホームのケアマネジャーからは多職種連携の在り方について意見が交わされており、参加者は在宅で暮らし続けることを支えるためには、共に地域との関係作りが大切との意見に同調していました。また、小規模多機能ホームでは地域包括ケアシステムを念頭に置いたケアマネジメントが求められ、ケアマネジャーは中核的に参画できる知識と技量が必要との意見が聞かれました。

これからも徳島県介護支援専門員協会では県内の施設・事業所で見学会を催し、ケアマネジメントにおける幅広い知識、見識の習得に役立てていける機会を提供して参ります。

凌雲会の皆様、ありがとうございました。

施設委員会：伊庭 利光



サテライト型小規模多機能居宅サービスの概要と説明の様子



居宅介護支援事業所や包括支援センター、小規模多機能ホームとの意見交換会の様子